

平成 2 3 年度 学 校 要 覧



校 歌

作詞・作曲 岩城 宏之

一
きらきら朝日に露輝いて
空の青さを感じる心

何も考えずに走る日があってもいい
この時にしか追えないボール

季節をいろどる祭りのように
力いっぱい現在(いま)を生きる
我らの広場 浅草中学

二
じんじん夕陽は色を深めて
風の匂いを感じる心

何かを見つめたくて立ちどまってもいい
この時にしか描けない夢

隅田川にかかる橋のように
未来へ向けて橋をかける
我らの舞台 浅草中学

台東区立浅草中学校

〒111-0051

東京都台東区蔵前1丁目3番地4号

電話 (3866) 5168・(3866) 5169

FAX (5687) 5888

ホームページ : <http://www.taitocity.net/asakusa-jhs/>
E-mail: asakusa-jhs@koumu.taitocity.net

学校の沿革

平成 3・4・1	開校 台東区立福井中学校及び台東区立蔵前中学校の統合により、 台東区立浅草中学校として開校。初代福沢幾男校長、台東区立蔵前中学校長より転補。
4・8	第1回入学式
10・3	校歌制定
10・25	開校記念式典
4・3・19	第1回卒業式(222名卒業)
5・27	特別棟新築工事完了
5・3・19	第2回卒業式(177名卒業)
4・1	第2代正田清明校長、台東区立竜泉中学校長より転補。
6・3・19	第3回卒業式(177名卒業)
7・3・19	第4回卒業式(182名卒業)
11・2	開校5周年記念式典
8・3・19	第5回卒業式(153名卒業)
4・1	第3代米倉功蔵校長、台東区立蓬萊中学校長より転補。
9・1・27	台東区教育委員会研究協力学校研究発表会
3・19	第6回卒業式(166名卒業)
10・3・20	第7回卒業式(143名卒業)
11・3・20	第8回卒業式(153名卒業)
4・1	第4代大越篤校長、江戸川区立篠崎第二中学校長より転補。
12・24	大規模改造工事第1期工事(6・2～)完了
12・3・18	第9回卒業式(153名卒業)
12・22	大規模改造工事第2期工事(7・10～)完了
13・3・19	第10回卒業式(130名卒業)
10・15	大規模改造工事第3期工事(7・9～)完了
10・24	開校10周年記念式典
14・3・20	第11回卒業式(139名卒業)
4・1	第5代中村日出夫校長、品川区立城南中学校長より転補。
15・2・3	台東区教育委員会研究協力学校研究発表会
3・20	第12回卒業式(135名卒業)
16・3・19	第13回卒業式(124名卒業)
17・3・18	第14回卒業式(85名卒業)
4・1	第6代杉山政一校長、台東区立桜橋中学校長より転補。 文部科学省学力向上拠点形成事業研究指定校に指定される。
18・3・20	第15回卒業式(48名卒業)
19・3・20	第16回卒業式(51名卒業)
11・16	文部科学省指定学力向上拠点形成事業研究協力校研究発表会
12・20	屋上庭園完成
20・3・19	第17回卒業式(71名卒業)
21・3・19	第18回卒業式(100名卒業)
22・3・19	第19回卒業式(138名卒業)
23・3・18	第20回卒業式(162名卒業)

教育課程の概要

1 学校の教育目標

高い知性と感性に富んだ実践力のある人間を育てる。
心身ともに健康で、思いやりのある人間を育てる。
このことの達成のために、校章に込められた願いから
『仁』 『義』 『礼』 『智』 『信』
を实践する。

『仁』 思いやりの心をもとう。
『義』 規律正しい生活をしよう。
『礼』 礼儀正しくしよう。
『智』 学力を身につけよう。
『信』 互いに信頼し合い、仲良くしよう。

学校の教育目標達成のための基本方針

全教育活動を通して、人権尊重の精神に基づき、人権尊重の意識・態度を育成する指導を充実し、生徒一人一人が他者のよさを認め、互いに信頼し合えるように、心の教育を推進する。

生徒の個性や能力に応じた指導及び基礎・基本の指導の徹底を通して、生涯を通じて学習を継続する意欲や態度の育成に努める。

心身ともに健康で人間性豊かな生徒を育成するため、全教職員の共通理解・同一歩調のもと、基本的生活習慣の

指導の徹底と規範意識の向上を図る。

「確かな学力」を育成するために、適正な授業時数を確保し、教員の自己研鑽を通して、授業力を高め、教育水準の向上に努める。

地域の文化・伝統にふれる機会を積極的に活用し、未来の日本を担う高いところざしと国際社会に貢献できる資質をもつ生徒の育成に努める。

保護者や地域住民の学校運営への参画を求め、学校評価を学校経営計画に反映させるとともに、その実施を広く公開することでより一層開かれた学校づくりの実現に努める。

健康の保持増進、体力の向上を目指し体育的活動の充実を図る。

2 学校経営方針をうけた教育課程編成の基本的な考え方

(1) 学校評価の結果を受けた教育課程の改善の視点

学力の向上を最重要課題と受け止め、すべての生徒に、自らの学力向上を実感させる教育を行う。そのために、日々研修に励み、校内研修を充実させ、改善点を学期ごとの授業改善推進プランに反映させる。

自己実現・夢を叶える学校作りのため学年・学級経営の充実を図る。

生徒数増に合わせ、「心のあいさつ」をはじめとした基本的な生活習慣の更なる定着を目指し、生徒の作成した「浅中しぐさ」の励行を図る。

台東区の公立中学校として、地域の人材・文化施設等を積極的に活用し、校外学習や職場訪問、職業体験等の体験学習を通して、身近な地域の理解を深める。

生徒会活動、文化部・運動部の活動の充実を図り、生徒の生きがい作りに努める。

(2) 教育課程の特色

土曜学校公開日を年11日設定し、授業時数の確保を図るとともに、保護者・地域に教育活動を積極的に公開する。

都立蔵前工業高校との連携型中高一貫教育推進校として交流を深め、一層の連携を図る。

補充学習の充実を図るため、区学力向上推進ティーチャー・「大学生が先生」を有効に活用し、生徒一人一人の学習内容の理解を深める。

3 指導の重点

(1) 教育課程の特色（「魅力ある教育活動の推進」事業を含む）

知 基礎学力の定着のために、学習状況に合わせた授業改善推進プランの作成と共に、授業外での補充学習の充実を図る。絶対評価「1」ゼロ宣言

徳 「夢を叶える学校」のスローガンの元、生徒一人一人が夢を持ち、ところざしを高く掲げ、生きがいのある学校生活を送らせる。

体 健康の保持増進、体力の向上を目指し、全校体制で「スポーツ推進校」に取り組み、全国体力・運動能力平均以上を目指す。

魅力ある教育活動として、以下の取り組みを行う。

ア 3年生の希望者を対象に夏期休業中の林間学校において「勉強合宿」を行う。

イ 放課後の時間を利用し、英語・数学の発展的な学習を行う。また、「大学生が先生」事業を活用した補充学習を行う。

ウ 東京時代祭等、地域行事への積極的な参加や地域事業所における職場訪問・職業体験の活動等を通して、伝統・文化・芸能・地域の宝物を受け継ぎ、豊かな心を育てる。校外学習では区内文化施設を積極的に利用して、地域理解を図る。

エ 部活動の充実のため、技能の指導とともに心（礼節を重んじる、耐える、集中する）の指導に力を注ぎ、生徒の自己実現に努める。

(2) 必修教科、選択教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間

必修教科

- ・ 全教育活動を通して表現力育成に取り組み、養った力を授業や生活に活かし、自ら獲得した知識を活用する。
- ・ 昨年度の学習評価、区・都等の学力調査の結果を分析し、各学期ごとに授業改善推進プランを作成し、目標に準拠した評価の規準や目安を生徒や保護者に明示し、各授業のねらいを定め、生徒の学習意欲を高める工夫をする。特に「授業開始5分間」の取り組みを推進する。
- ・ 生徒一人一人の学習定着度を十分に把握し、基礎・基本の定着に重点を置いた指導を徹底し、習熟度に応じた指導をさらに推進する。
- ・ 数学科では、少人数指導による授業を実施し、習熟度に応じた指導を推進する。
- ・ 特別支援教育の理念に基づき、配慮を要する生徒に関して、個別の教育支援計画を策定するとともに個別指導計画を作成し指導にあたる。

選択教科

- ・ 1年生の選択教科については、中学校生活に必要な基礎体力の増進を図るため保健体育(15時間)を学校

選択とする。

- ・ 2年生の選択教科については、必修で学習した内容の定着を図り、活用の場面を設けるために、英語（20時間）・数学（20時間）をそれぞれ学校選択とする。
- ・ 3年生の選択教科については、必修で学習した内容の定着を図り、活用の場面を設けるために、生徒の興味・関心に沿って国語・数学（35時間）を選択授業とし、英語（35時間）を学校選択とする。

道徳

- ・ 生徒一人一人の情操を豊かにし、道徳的实践力を高める。そのために、道徳の全体計画及び年間指導計画を精査し、生徒の心情に訴える授業の展開を図る資料の収集と活用を図る。
- ・ 副読本とともに「心のノート」を計画的に活用し、道徳の時間の充実を図り、道徳的な心情を培う。
- ・ 台東区「こころざし高く」の資料を活用し、社会に貢献できる生徒の育成を図る。
- ・ 「浅中しぐさ」の日々の実践を図り、規範意識の高揚を推進する。
- ・ 道徳授業地区公開講座を開催し、全学級の授業を公開し、心の教育や学校・家庭・地域における道徳教育の在り方や連携について、相互の理解を深め、協力体制を整える。
- ・ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める態度を育成するため、地域における職場訪問や職業体験を実施する。

特別活動

- ・ 学級活動や生徒会活動、学校行事などを通して、生徒一人一人の自主的、積極的な活動をうながす指導を行う。特に、生徒会活動を通して、全校生徒の自主自立の意識向上を図る。
- ・ 生徒会を中心として、校内や区で主催するボランティア活動に積極的に取り組み、自主的な実践力を養う。
- ・ 心とからだの健康づくりを目指し、年間指導計画に基づいた「性にかかわる指導」及び「薬物乱用防止に関する指導」を計画し、推進する。
- ・ 生徒一人一人の特性を見極め、人権感覚を磨き、集団の中での相互のかかわりを大切に、深めるため、学校行事の積極的な推進を図る。

総合的な学習の時間

- ・ 「コミュニケーション能力の育成」をテーマに、言葉で表現することにより、実践を通して身に付けた知識・技能の活用を図り、発表力を高める。具体的な方策として、各学年スピーチコンテストの実施、パソコンを利用したプレゼンテーションなどの発表の機会を設ける。
- ・ 「調べ学習」をテーマに、行事や身近な活動を題材にして、自ら課題を見付け、調べ、体験し、まとめ、発表することを通して、課題解決の能力を養うとともに、学び方・ものの考え方等の習得を図る。

(3) 生活指導・進路指導(キャリア教育・こころざし教育)

ア 生活指導

- ・ 「人権尊重の意識・態度の育成」を学校教育全般にわたって推進し、基礎的・基本的な全体指導の徹底を図る。
- ・ 「下町台東の美しい心づくり運動」の推進を図り、「心のあいさつ運動」を展開することにより、人とのかかわりを深め、学校内外の生活指導の徹底を図る。
- ・ 全教育活動を通して、思いやりのある言動を身に付けさせる。特に、よい言葉遣いに対する意識の高揚を図る。
- ・ 生徒会を中心に計画的に「浅中しぐさ」の定着を図り、生徒の自治活動を推進する。
- ・ 組織的・計画的な生活指導の充実を図り、集団の一員としての自覚を高め、望ましい社会性と基本的生活習慣の定着、規範意識の育成を図る。
- ・ 学校不適応生徒への適切な支援を進めるため、家庭・地域・関係機関との連携、さらにスクールカウンセラーを含めた生活指導部会を毎週行い、情報の共有化を図り、不登校生徒等への支援体制を強化する。
- ・ 家庭・地域・関係機関との連携を強化し、教師と生徒の信頼関係をもとに、いじめの早期発見・解決への取り組みを行う。
- ・ 危機管理に対する意識を高め、関係諸機関との連携を図り、避難訓練（学校110番通報訓練を含む）や安全指導（セーフティ教室を含む）を計画的に実施することで、緊急時の適切な判断力と行動力を養う。

イ 進路指導

- ・ 「地域や国を担う高いこころざし」を受けて、「心のあいさつ」を基本とした基本的生活習慣の確立を目指すとともに社会に貢献できる生徒を育成する。
- ・ 3年間を見通した計画的指導により、望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるとともに、生徒一人一人の個性・適性を生かし、自己理解への意欲とともに自己実現を図る態度と能力を養う。
- ・ 「キャリア教育」の一環として、身近な職業調べ、職場訪問・職業体験や上級学校訪問等を実施し、進路フェア等への積極的な参加をうながし、将来、自立し社会に貢献できる人間形成を行う。
- ・ 進路の悩みや課題を解決するため、生徒一人一人についての相談や指導を充実する。

4 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当表

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
1	16	19	22	14	0	21	20	22	18	17	22	16	207
2	17	19	22	14	5	21	20	22	18	17	22	16	213
3	17	19	22	14	0	21	20	22	18	17	22	13	205
備考	<ul style="list-style-type: none"> 開校記念日は、6月28日のため6月は1日減。 入学式(4月7日)のため、第1学年の4月は1日減。 卒業式(3月19日)のため、第3学年の3月は3日減。 長期休業中の授業日の設定(8月22日、23日、24日、25日、26日)のため、第2学年の8月は5日増。 振替のない土曜学校公開日を10日間設定したため、全学年6月は1日増、7月は1日増、9月は1日増、10月は1日増、11月は2日増、12月は2日増、1月は1日増、2月は1日増。 												

(2) 授業時数確保の方策

毎日の授業時数を累積し、年間の総時数を常に意識して、適宜授業変更を行う。

- 年度当初、年間を通じた授業時数の見込みを算出する。
- 通年を通しての実施ができない教科の時数を考慮して、時間割は3期制とし、年間を通して行事や休日等による授業時数の偏りを調整する。
- 教員の出張、休暇等による時間割の変更も同様に調整する。

余剰時間を計画的に各教科等へ振り替える。

行事準備にかけける時間を精選する。三者面談、2年職業体験は、夏季休業中に行う。

(3) 必修教科、選択教科、道徳の時間、特別活動(学級活動)、総合的な学習の時間の年間授業時数配当表

区分		学年		
		1	2	3
必修教科	国語	144	109	109
	社会	109	109	89
	数学	144	109	144
	理科	109	144	144
	音楽	47	37	37
	美術	47	37	37
	保健体育	92	92	92
	技術・家庭	72	72	37
	英語	109	109	109
小計	873	818	798	
選択教科	選択(保健体育)	15		
	選択(英語)		20	35
	選択(数学)		20	
	選択(国語、数学)			35
	選択教科合計	15	40	70
道徳の時間		35	35	35
学級活動		35	35	35
総合的な学習の時間		58	88	78
総計		1016	1016	1016
標準時数との差		36	36	36
備考	<ul style="list-style-type: none"> 1単位時間は50分とする。 土曜学校公開として年間28時間各教科及び道徳、総合的な学習の時間の授業を行う。 「総合的な学習の時間」のうち、「表現力育成授業」を各学年、年間で10時間行う。 朝の10分程度の時間を活用して、必修教科の国語を年間2時間、社会科を年間2時間、数学を年間2時間、理科を年間2時間、英語を年間2時間、教育課程に位置付ける。 2学年は、夏季休業中に「総合的な学習」として職業体験(6時間×3日)+前日指導(2時間)及び事後指導(2時間)、計22時間実施する。 			

(4) 学校裁量の時間の扱い

ア 配当時間 70 時間

イ 活動内容 「全校の時間」及び「学年の時間」を設定する。

- ・ 教科等 30 時間 全校
- ・ 学校行事のための事前・事後指導 10 時間 全校
- ・ 教育相談・進路相談 10 時間 各学年
- ・ 集会に関する活動・生徒会活動 10 時間 各学年
- ・ 補充学習 10 時間 各学年

(5) 選択教科

学 年		1	2	3
配当時間数		15	35	105
選 択	実施時期・時間数	4月～6月・15時間		
	教科(コース数)	保健体育(6)		
選 択	実施時期・時間数		年間・隔週 20時間	年間 35時間
	教科(コース数)		英語(5)	英語(4)
選 択	実施時期・時間数		年間・隔週 20時間	
	教科(コース数)		数学(5)	
選 択	実施時期・時間数			年間 35時間
	教科(コース数)			国語(4)、数学(4)

(6) 指導方法の工夫改善に伴う教員加配の計画

学年	1	2	3
数 学	a : 通年 b : 6 時間 c : 2 1 0 時間 d : 2 学級 3 展開 週 3 時間少人数	a : 通年 b : 9 時間 c : 3 1 5 時間 d : 2 学級 3 展開 1 学級 2 展開 週 2 時間少人数	a : 通年 b : 4 時間 c : 1 4 0 時間 d : 2 学級 3 展開 週 2 時間少人数

a : 実施時期 b : 週あたり増時数 c : 合計増時数 d : 方法

5 日課表

登 校	8:20
職員朝会	8:15 ~ 8:25
朝 学 習	8:25 ~ 8:35
学 活	8:35 ~ 8:45
第 1 校時	8:45 ~ 9:35
第 2 校時	9:45 ~ 10:35
第 3 校時	10:45 ~ 11:35
第 4 校時	11:45 ~ 12:35
給 食	12:35 ~ 1:05
予 鈴	1:25
第 5 校時	1:30 ~ 2:20
第 6 校時	2:30 ~ 3:20
学 活	3:25 ~ 3:35
清 掃	3:35 ~ 3:45
下 校	4:00
部 活 動	~ 6:30

6 学校行事

4月	6日	始業式	10月	15日	土曜学校公開日
	7日	入学式			道徳地区公開講座
5月	13日	生徒総会	10月	29日	文化祭(東京都教育の日)
	17日～19日	修学旅行(3年)	11月	3日	東京時代祭(1年)
6月	6日～9日	霧ヶ峰移動教室(2年)		5日	土曜学校公開日
	18日	土曜学校公開日		10日	校外学習(職場訪問1年)
	19日	運動会		19日	土曜学校公開日
	28日	開校記念日	12月	3日	土曜学校公開日
7月	16日	土曜学校公開日		17日	土曜学校公開日
	20日	第1学期終業式		22日	第2学期終業式
	27日～30日	部活勉強合宿	1月	10日	第3学期始業式
8月	23日～26日	職業体験(事前事後指導含む)(2年)		21日	土曜学校公開日
			2月	4日	土曜学校公開日
9月	1日	第2学期始業式		5日～8日	連合作品展
	3日	土曜学校公開日	3月	8日	合唱コンクール
	16日	生徒会選挙		14日	音楽鑑賞教室(1年)
	17日	土曜学校公開日		19日	卒業式
	27日	区連合陸上競技大会		23日	修了式

教職員の概要

1 教職員一覧

番号	職名	氏名	学年	教科・担当	校務分掌
1	校長	杉山 政一		経営	学校経営
2	副校長	増田 律子		経営	学校経営
3	主幹教諭	荒井 清治	1年主任副担任	技術	生活指導主任
4	教諭	富森 一行	1年1組担任	保健体育	生活指導
5	教諭	宮本 裕梨	1年2組担任	英語	教務
6	主任教諭	丸山 匠勇	1年3組担任	国語	進路学習指導主任
7	教諭	猪狩 菜穂子	1年4組担任	家庭科	生活指導
8	教諭	瀬尾 治里	1年5組担任	数学	教務
9	教諭	渡邊 和貴	1年6組担任	社会	教務
10	教諭	今野 庸	1年副担任	理科	進路学習指導
11	教諭	木根淵 優子	1年副担任	音楽	教務
12	教諭	河原林 宏治	1年副担任	数学	生活指導
13	教諭	杉本 富子	1年副担任	理科	進路学習指導
14	主幹教諭	上河 恭子	2年主任1組担任	国語	生活指導
15	教諭	渡邊 隆之	2年2組担任	数学	生活指導
16	教諭	立矢 真大	2年3組担任	数学	教務
17	主任教諭	板垣 功	2年4組担任	英語	進路学習指導
18	教諭	藤田 要子	2年5組担任	社会	生活指導
19	教諭	谷口 定夫	2年6組担任	理科	教務
20	主任教諭	野呂 芳子	2年副担任	保健体育	生活指導主任
21	教諭	石渡 聖一	2年副担任	美術	教務
22	教諭	百瀬 和弘	2年副担任	数学	生活指導
23	非常勤教諭	米原 光夫	2年副担任	音楽	
24	主任教諭	大島 明人	3年主任1組担任	英語	進路学習指導
25	教諭	中嶋 亮	3年2組担任	数学	生活指導
26	主幹教諭	仲江 徹	3年3組担任	社会	教務主任
27	教諭	工藤 彰浩	3年4組担任	保健体育	生活指導
28	主任教諭	蠣崎 裕子	3年副担任	理科	進路学習指導
29	養護教諭	梅津 桂子	3年副担任	養護	生活指導
30	非常勤教諭	新井 美孝	3年副担任	国語	
31	教諭	小池 晶子	3年副担任	国語	教務
32	事務主任	武井 宏樹		事務	事務・施設管理
33	事務主査	久保 美恵子		事務	事務・施設管理
34	栄養士	伴 佳子		栄養	保健・給食、事務
35	用務	坂本 哲美		用務	事務・施設管理
36	用務	澤山 泰子		用務	事務・施設管理
37	スクールカウンセラー	廣瀬 信慶		スクールカウンセラー	
38	講師	石川 美奈子		国語	
39	講師	山本 恵利華		理科	
40	講師	山口 裕一郎		保健体育	
41	講師	方波見 哲雄		技術	
42	区学力推進T	松野 卓司		数学	
43	区学力推進T	澤田 久美子		英語	

教科の は教科主任

(学校医)

小川裕一郎(内科)	鬼久保至彦(歯科)	増野 彰(眼科)	立岡 英宏(耳鼻科)	待井 啓子(薬剤師)
-----------	-----------	----------	------------	------------

2 運営組織

	分野	担 当 内 容	担 当 者
教 務 部	教育計画	教育課程の編成、儀式・朝礼の計画	仲江、立矢、谷口
		年間行事計画、月行事予定	仲江
		授業実施時数管理	立矢、瀬尾、仲江
		儀式・朝礼の計画	仲江
		時間割（平常・臨時）、補教	立矢、瀬尾、仲江
		選択教科、講師連絡	立矢、仲江
		定期考査・学習計画・結果処理	木根 測、石渡、小池
		学校評価（職員、生徒、保護者、地域）	仲江、立矢
	学 籍	転入・転出事務（スクールオフィス管理）	瀬尾、仲江
		指導要録、出席簿、学級日誌、週案、教務手帳	木根 測、立矢、宮本
		教科書・副教材	渡邊、木根 測
		生徒情報データベースの保管・管理	瀬尾、谷口、仲江
	教育実習	教育実習受入事務、実習生指導画、連絡調整・評価関係事務・反省会	谷口
	放 送	学校放送計画の作成と推進、放送室管理、チャイムの設定と管理	石渡、谷口、河原林
	広 報	学校便り『飛翔』発行	渡邊、瀬尾、河原林
		浅草中 HP 作成と更新、学校あてメール管理	石渡、宮本、谷口
	そ の 他	入学式のしおり、卒業のしおり、学事報告、職員名簿	教務主任
職員室行事予定黒板		副校長	
スクールオフィス日程管理、学校要覧、職員朝会司会、企画会司会		教務主任	
進路学習指導部	教科・学級	指導画作成と推進、授業数管理、評価基準、朝学習の計画、資料整備	丸山、板垣、蠣崎
	道 徳	指導計画作成と推進、資料収集・管理と提供	丸山、板垣、大島
	総 合	指導画作成と推進、表現力育成授業画・推進、資料収集・管理と提供	今野、杉本、板垣、蠣崎
	図 書	図書教育の推進、事務と管理、図書室及び準備室管理	丸山、板垣、大島
	進路指導	進路指導・キャリア教育の推進、各種診断テスト計画・実施と管理、連携型中高一貫教育の計画と推進、進路台帳、文章類の管理、関係資料の収集・管理と提供	丸山、今野、杉本、板垣、大島
生 活 指 導 部	生活指導計画	生活指導全般、指導計画、地区集会運営、生活指導主任会、学警連、祭礼パトロール、生徒手帳保管・管理、生徒個人写真、ネクタイ・リボンの管理、落とし物管理、朝礼・集会整列身なり指導	荒井、富森、上河、猪狩、工藤
	生活指導部会計	生徒会会計、再発行の生徒手帳代の管理と会計	猪狩、中嶋
	部 活 動	活動計画、入部事務、部活動の運営、部活合宿	富森、工藤、渡邊
	教育相談	特別支援リーダー、不登校生徒の実態把握、加わり、諸機関との連絡	梅津、野呂
	生 徒 会	生徒会行事計画、役員会・中央委員会・専門委員会指導	中嶋、猪狩、渡邊
	安全指導	防災計画、避難訓練、安全指導、登校指導、地域班編成	工藤、藤田、百瀬
	環境美化	清掃担当、大掃除計画、学校美化運動、校内掲示板の割り当て、管理	猪狩、藤田、百瀬
保健・給食指導	保健室の利用、緊急時の対応、給食指導、白衣点検、給食事務	野呂、梅津、伴	
事 務 施 設 管 理 部	事 務	庶務、経理、施設、給与、就学援助、福利厚生関係事務	武井、久保
	施設整備	施設整備、光熱水節減推進	武井、久保
	台東区教育研究会関係		梅津、猪狩、増田、仲江、新井
	区互助会関係事務		武井

3 委員会担当 (委員長)

校内研修委員会	谷口・富森、荒井、仲江、大島
文化的行事委員会	猪狩、丸山、上河、木根淵、石渡、蠣崎
体育の行事委員会	工藤、野呂、富森、今野、杉本、宮本、立矢、渡邊隆、中嶋、百瀬
学校保健委員会	野呂、梅津、宮本、藤田、小池
中高連携教育推進委員会	仲江、丸山、渡邊和、板垣、藤田、中嶋
視聴覚委員会	谷口、瀬尾、立矢、石渡、蠣崎、河原林
特別支援コーディネーター	梅津、荒井、上河、大島
企画委員会	校長、副校長、武井、各主任

4 生徒会専門委員会・生徒会誌担当

学級委員会：荒井・上河・大島	生徒会誌：上河・仲江
保健委員会：木根淵・谷口・梅津	生活委員会：富森・板垣・渡邊・工藤
整美委員会：渡邊・河原林・立矢・小池	給食委員会：宮本・野呂・百瀬・仲江
図書委員会：丸山・藤田・米原・新井	広報委員会：今野・瀬尾・杉本・石渡・蠣崎

5 教職員数

()は区非常勤職員、民間委託職員

職名	校長	副校長	教諭									養護士	栄養士	講師	主事		調理士	合計
			国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語				用務	事務		
男	1		2	2	6	2	1	1	2	1	2			2	(1)	1	(3)	29
女		1	2	1		1	1		1	1	1	1	1	2	(1)	1	(6)	23
計	1	1	4	3	6	3	2	1	3	2	3	1	1	4	(2)	2	(9)	52

他 スクールカウンセラー(1)

生徒の概要

1 平成23年度在籍生徒数 男子 304名 女子 238名 合計 542名

2 学年・学級編制 (学年主任)

学年	学級	男子	女子	計	学級担任	副担任
1年	1組	20	15	35	富森 一行	荒井 清治 今野 庸 木根淵 優子 河原林 宏治 杉本 富子
	2組	20	14	34	宮本 裕梨	
	3組	20	14	34	丸山 匠勇	
	4組	20	14	34	猪狩 菜穂子	
	5組	20	14	34	瀬尾 治里	
	6組	19	15	34	渡邊 和貴	
	言十	119	86	205		
2年	1組	19	14	33	上河 恭子	野呂 芳子 石渡 聖一 米原 光夫 百瀬 和弘
	2組	19	15	34	渡邊 隆之	
	3組	19	15	34	立矢 真大	
	4組	19	15	34	板垣 功	
	5組	18	15	33	藤田 要子	
	6組	19	14	33	谷口 定夫	
	言十	113	88	201		
3年	1組	18	16	34	大島 明人	蠣崎 裕子 梅津 桂子 新井 美孝 小池 晶子
	2組	18	16	34	中嶋 亮	
	3組	18	16	34	仲江 徹	
	4組	18	16	34	工藤 彰浩	
	言十	72	64	136		
総計	言十	304	238	542	1年11名、2年10名、3年8名 講師4名	

3 部活動

<運動部>

部活動名	顧問名
野 球	中嶋、荒井、渡邊隆
男女バスケットボール	富森、工藤、杉山校長、
女子バドミントン	瀬尾、藤田
水 泳	板垣
陸 上	猪狩、百瀬
ソフトテニス	野呂、梅津、宮本
男女バレーボール	立矢、大島、上河

<文化部>

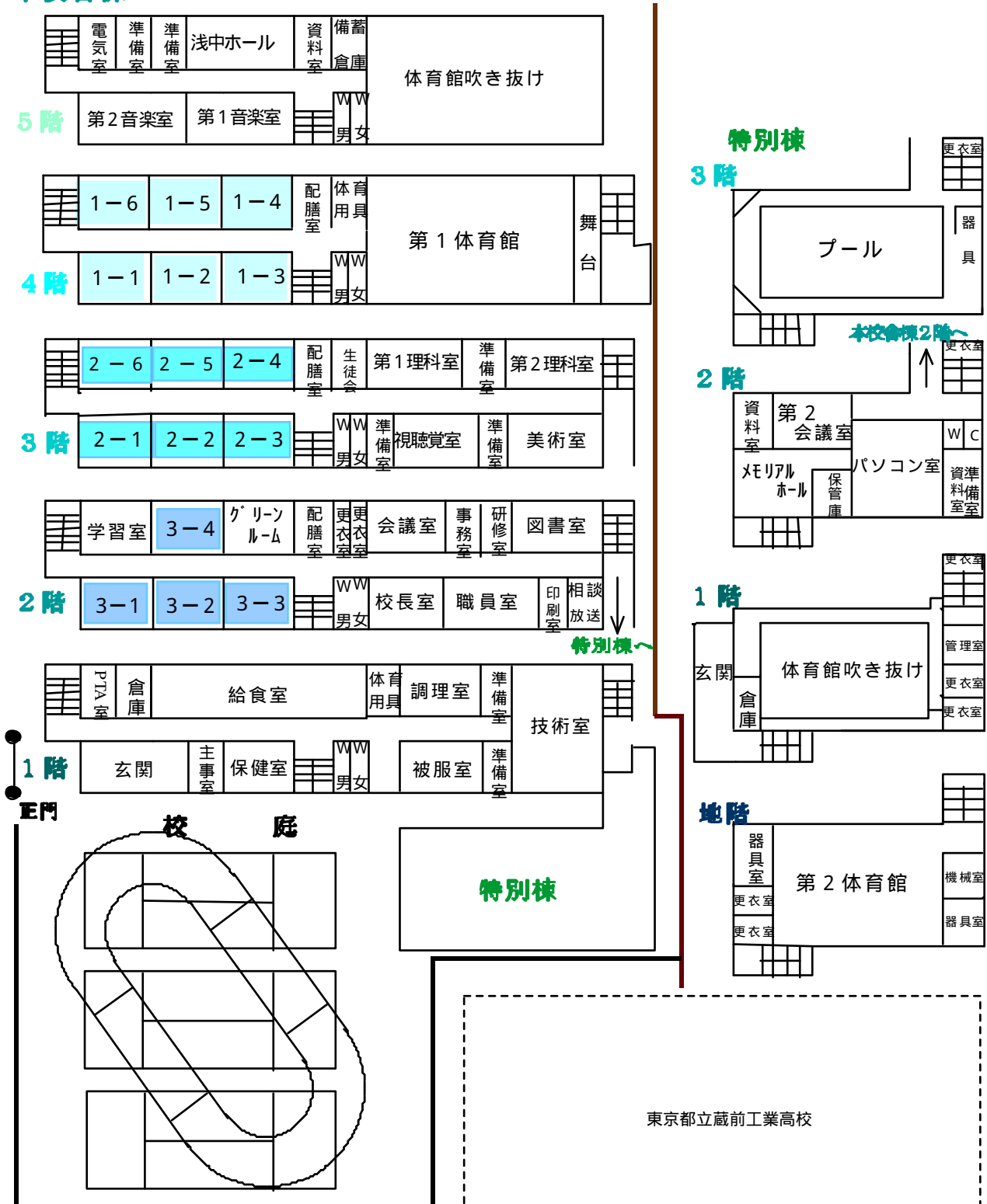
部活動名	顧問名
吹 奏 楽	渡邊和
三 味 線	増田副校長、仲江
美 術	石渡
理 科	谷口
演 劇	丸山、宮本
アナウンス	蠣崎

資料

浅草中学校・敷地の概要と校舎平面

敷地面積5.543㎡・校庭面積2.400㎡

本校舎棟



周辺地図

旧通学区は、浅草寺周辺を北限、J R 総武線浅草橋駅付近を南限とし、隅田川に沿って南北に長く広がっていました。台東区では平成15年度から学区としては残しますが、学校自由選択制となっています。

交通

J R 総武線・浅草橋駅（徒歩7分）

都営浅草線・蔵前駅（徒歩6分）

J R 総武線浅草橋駅東口 徒歩7分

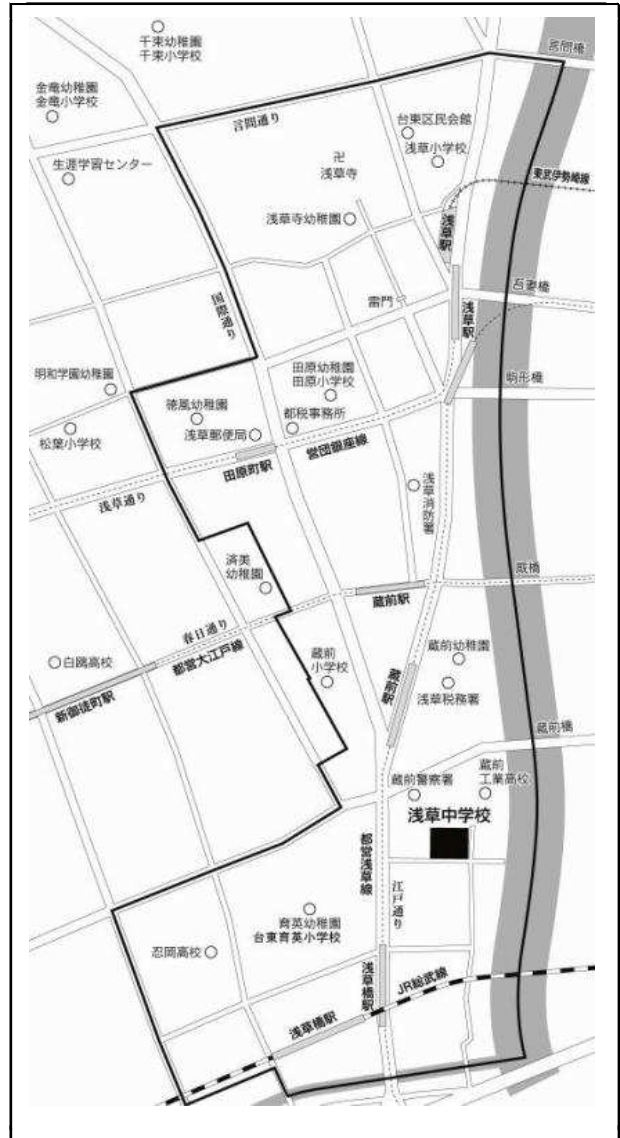
J R 総武線を背にして江戸通りを浅草方面へ、須賀橋交番を右折し直進左側

都営浅草線浅草橋駅A6出口 徒歩6分

J R 総武線を背にして江戸通りを浅草方面へ、須賀橋交番を右折し直進左側

都営浅草線蔵前駅A1出口 徒歩6分

蔵前橋通りに出て、蔵前警察署の脇道を南進し、蔵前神社を左折し直進左側

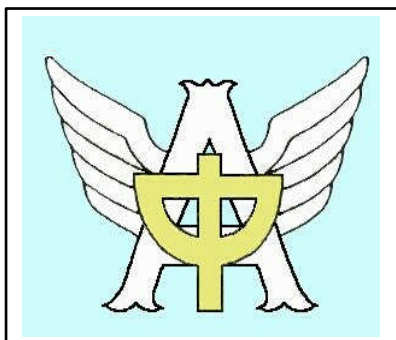


浅草中周辺の航空写真



運動会・組体操

校章について



真ん中に突き出す「A」の文字は、浅草のイニシャルであり、併せてエースのAに通じ、常に一流をめざす気迫が込められている。そのAを背後から覆う5枚の羽は、未来に向かって力強く飛翔する様子を表している。

その一枚一枚には、次のような思いも込められている。中国の「漢書」の中の「五常」(人が常に行うべき5つの道)の精神を校訓としてとり入れている。

- 即ち、 仁—思いやりの心を持つ。
- 義—きまりを守り規律正しくする。
- 礼—礼儀作法を重んじる。
- 智—しっかりと勉強し学力を身につける。
- 信—互いに信頼し合い仲よくすることを期待する。